

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和2年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- 令和元年度は、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）

□ 事業内容

青少年野外活動施設における机・椅子の整備事業

- ・ 学校園団体、青少年団体、子育て世帯をはじめとする家族連れ等の団体が主に利用する野外活動施設において、自然と触れ合うことを通じて青少年の健全育成を図った。

【事業費】 4,180千円（うち譲与税4,180千円）

【実績】 屋外用：テーブル・イス一体型 40台
 屋内用：テーブル 11台 イス 14台



□ 事業スキーム

一般競争入札

□ 工夫・留意した点

- ・ 特に屋内用テーブル・ベンチについては、談話コーナーやロビーなど、利用者が集まる場所に設置することにより木の良さを実感する場を提供した。

□ 基礎データ

①令和2年度譲与額	232,924千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	0.00%
④人口（※3）	2,691,185人
⑤林業就業者数（※4）	62人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より